

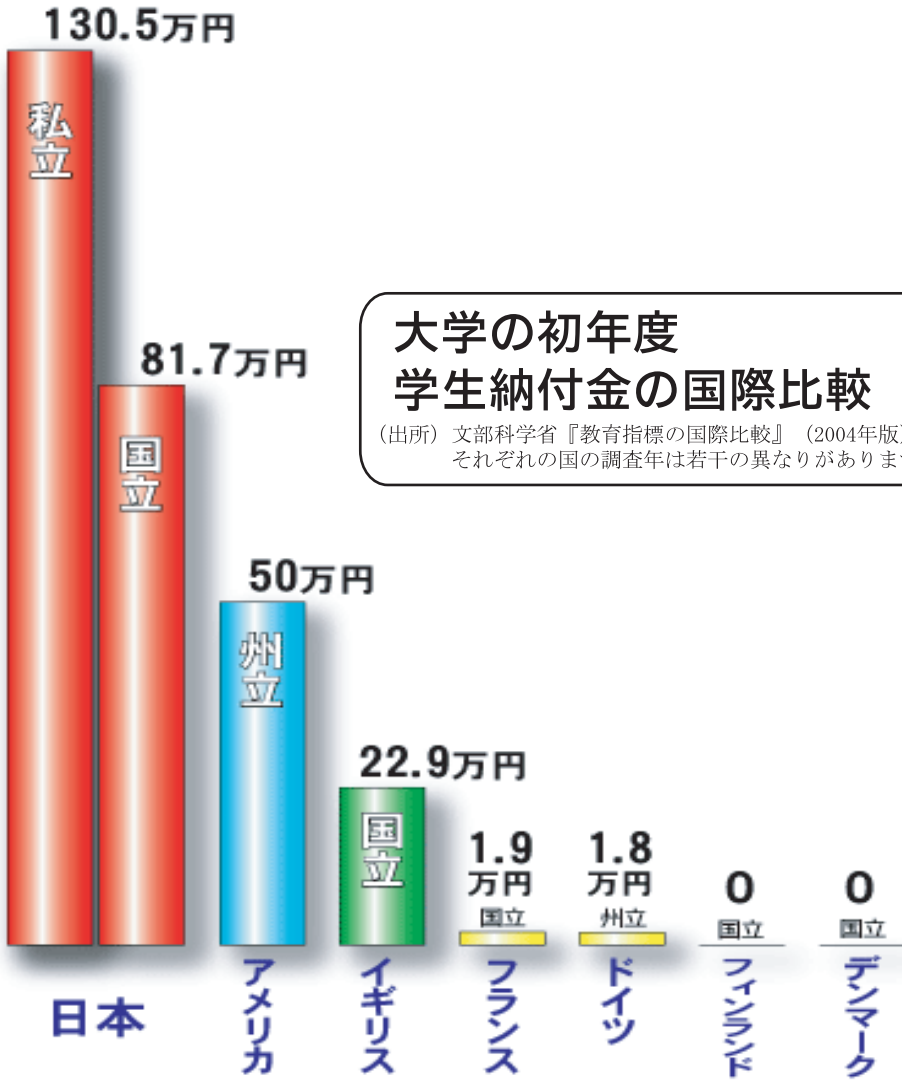
学費が払えなくて、
友達が大学をやめた

教科書もコピー。食事を切
りつめて、一日2食で生活

親に申し訳ないと思いな
がら、大学に通っている

お金の心配なく学びたい

世界一高い学費の値下げを



大学の初年度 学生納付金の国際比較

(出所) 文部科学省『教育指標の国際比較』(2004年版)
それぞれの国の調査年は若干の異なりがあります

日本共産党

大学予算を増額し、学費値下げを

だれもが活用できる奨学金制度の充実を

今年度予算案では、国立大学運営費交付金を171億円減らすことを提案。この3年間では371億円もの削減に。私立大学への経常費補助削減は1984年以來のこと、32億円減。これでは学費値上げにつながりかねません。政府は無利子枠よりも有利子枠をさらに増やすことを提案。上限3%の金利を、さらに引き上げようとしている。奨学金がローン化する恐れが広がっている。

学生の声を“無視” 自民・公明・民主

- 大阪府独自の学生むけ奨学金制度を、2002年度から全廃
- 「お金がなければ二部に通って働けばいい。大学予算を増やすのには反対」(昨年末の国会要請で自民党議員)

1966年に国連で採択された国際人権規約は「高等教育の無償化にむけて努力すること」と定めています。しかし日本政府は「財政的にむずかしい」と批准を「留保」。同じような国は、マダガスカルとルワンダだけです。「世界第二位の経済力をもつ国になぜできないのか」と日本府の姿勢に、世界と国連からきびしい非難の声があがっています。



前参議院議員
党府委員会政策委員長

宮本たけし



元参議院議員
党府委員会副委員長

山下よしき

日本共産党 委員会の見解を紹介します

民報題字

詳しくは<http://www.jcp.or.jp/>へアクセス